

TOWA REPORT

第70期第2四半期(中間期)
事業のご報告

2025年4月1日～2025年9月30日



東和薬品

▶ 連結業績のハイライト ◀

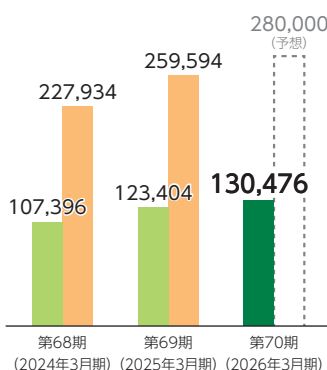
| 2026年3月期 中間期 |

売上高

1,304億76百万円

前年同期比 5.7% 増

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)

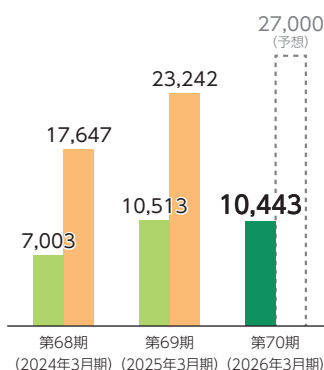


営業利益

104億43百万円

前年同期比 0.7% 減

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)

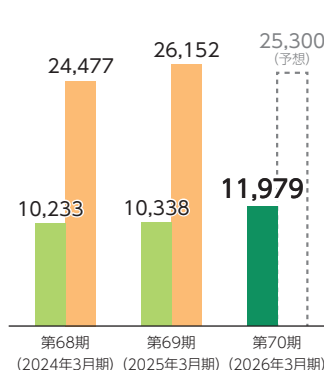


経常利益

119億79百万円

前年同期比 15.9% 増

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)

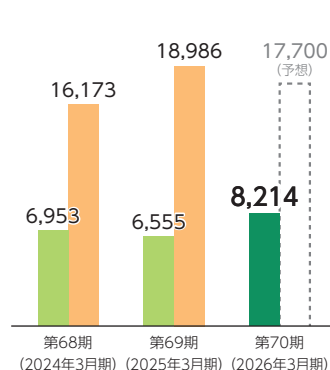


親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

82億14百万円

前年同期比 25.3% 増

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



| 2026年3月期 通期予想 |

売上高

2,800億00百万円

前期比 7.9% 増

営業利益

270億00百万円

前期比 16.2% 増

経常利益

253億00百万円

前期比 3.3% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

177億00百万円

前期比 6.8% 減

175億錠の生産体制を開始し、 更なる安定供給体制の構築に向け 取り組んでおります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第70期第2四半期（中間期）事業のご報告（2025年4月1日～2025年9月30日）をお手元にお届けします。

当中間連結会計期間の業績につきましては、前年同期比で売上高は5.7%増、営業利益は0.7%減となりました。

国内ジェネリック医薬品業界におきましては、2024年3月の社会保障審議会医療保険部会において、ジェネリック医薬品の数量シェアを2029年度末までにすべての都道府県で80%以上とする主目標等が掲げられ、その結果、2025年4-6月期の国内数量シェアは89.2%（日本ジェネリック製薬協会調べ）となっております。また、企業の安定供給体制を評価する企業指標を薬価改定に反映するなど、安定供給への責任と重要性が増しております。

そのような中、当社グループでは安定供給責任を果たすため、増産に向けた新設備の導入と増員に取り組んでおり、2023年11月に建設工事が完了した山形工場第三固形製剤棟が2025年10月よりフル稼働し、これにより大阪工場・岡山工場・山形工場の3工場合わせた生産能力は年間175億錠となりました。

加えて、製造管理及び品質管理面では、2024年に採用したマスターコントロール株式会社の品質管理マネジメントシステム“MasterControl Quality Excellence”による医薬品の製造に係るイベント管理や文書の電子的一元管理の社内拡大を図っており、更なる製造管理及び品質管理の向上に取り組んでおります。

また、社会問題にもなっている医薬品へのニトロソアミン類の混入に関しても、社内で専門の組織を設立し、当該問題の解決に向け研究を進め、各種論文での発表なども行っております。そのような当社グループのニトロソ化対策に関する一連の研究成果及び製剤技術の進歩に寄与したことが評価され、一般社団法人粉体工学会 製剤と粒子設計部会より、「製剤と粒子設計学術賞」を受賞することができました。

海外事業においては、子会社のTowa Pharma International Holdings,S.L.（以下「Towa INT」という）を中心に活動をおこない、2024年2月にはTowa INT傘下であるTowa Pharmaceutical Europe,S.L.のマルチレージャス工場（スペイン）が胃潰瘍などの治療薬として使用されるエソメプラゾールカプセル10mg/20mg「トーフ」の国内向け製造所として承認を得ており、グループとして生産バックアップ体制の強化につながるとともに、国内ジェネリック医薬品の安定供給にも貢献しております。今後更に、Towa INTとの人材交流、技術交流を活発化させて、海外事業を加速させるとともに、製造技術の向上にも取り組んでまいります。

当社グループは引き続き安定供給に向け、適切な品質が確保されたジェネリック医薬品を患者さまへお届けできるよう、努めてまいります。

中間配当金につきましては、安定配当を維持し、当初の計画通り1株当たり40円としました。

当社グループにおいては、2024年6月に発表した「第6期中期経営計画 2024-2026 PROACTIVEⅢ」に基づき、引き続き取り組みを進めてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長

吉田 透郎

▶ TOPICS 1 ◀ 日本初の持続放出性リバスチグミン経皮吸収型製剤を発売

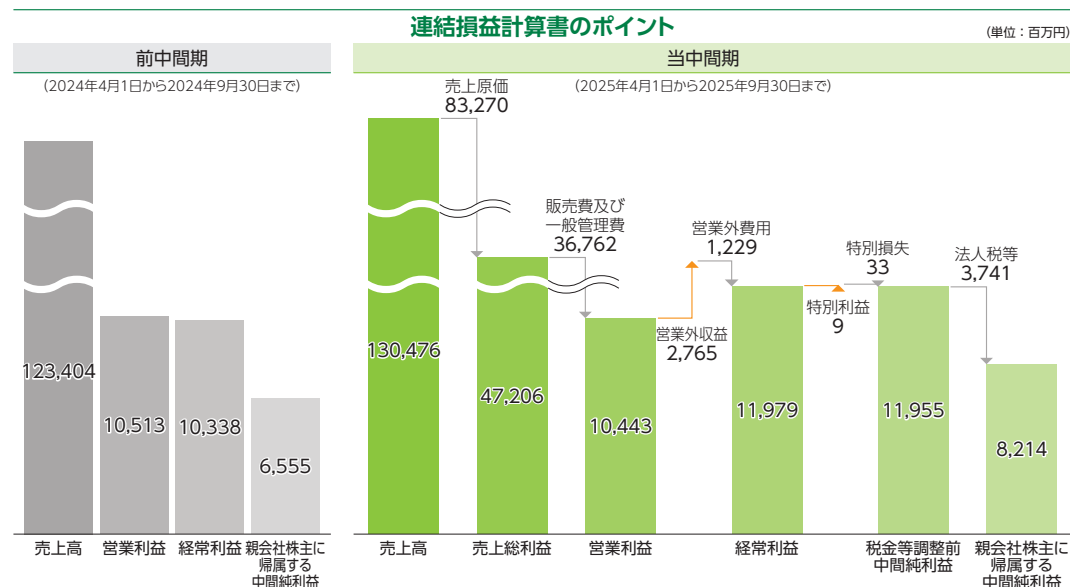
日本初の持続放出性のアルツハイマー型認知症治療用貼付剤を2025年5月28日に発売いたしました。

本剤は、スイスのLuye Pharma Switzerland AG社が開発した週2回貼付の持続放出性経皮吸収型製剤（パッチ剤）で、軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症を対象とする国内第Ⅲ相試験において、1日1回貼付剤との非劣性が検証され、「軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制」の効能・効果で、2025年3月27日に新医薬品として製造販売承認を取得しました。

貼付剤は服薬状況が可視化されることで、服薬管理を行う介護者等の負担軽減が期待され、アドヒアランス向上の工夫の一つとして考えられています。また、アルツハイマー型認知症治療薬は1日1回～2回の投薬が必要ですが、本剤は投薬頻度を週2回と低減することで、服薬管理における更なる負担軽減につながることで期待されています。

本剤が持続的な認知症ケアの実現及び患者さまやご家族、介護に携わる方々にとって新たな治療選択肢の一つとなり、より良い生活の質を提供する一助として貢献できることを期待しています。

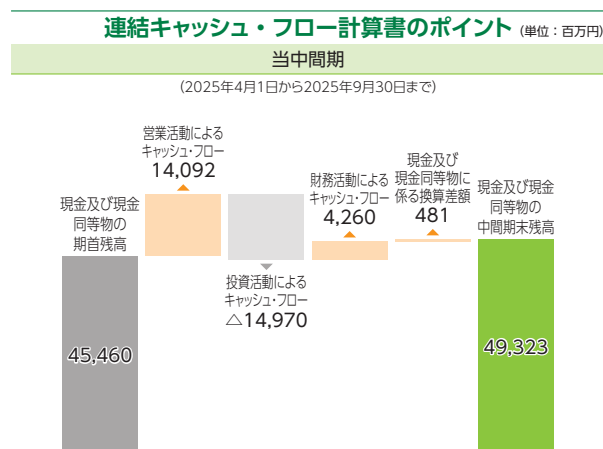
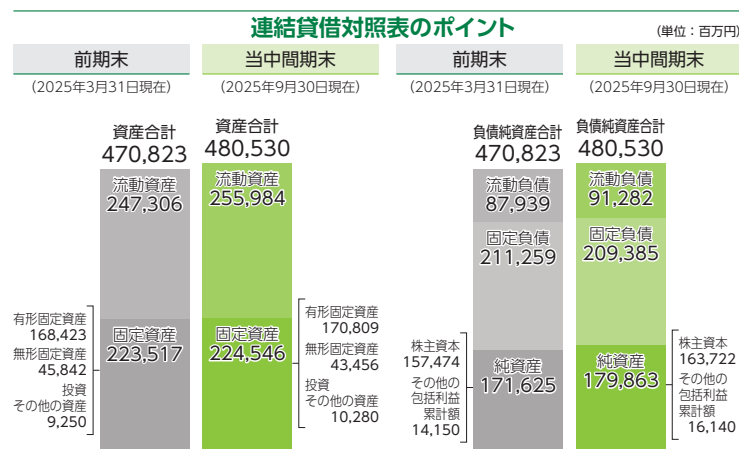
▶ 中間連結財務諸表 (要約) ※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



POINT 1

生産数量の増加に伴う市場への供給数量増加により前年同期比で売上増加

当中間期は、前期に引き続き当社において生産数量の増加に伴い販売数量が増加したことにより好調な業績が続いております。売上高は130,476百万円となり、売上総利益は47,206百万円となりました。販売費及び一般管理費は36,762百万円計上され、営業利益は10,443百万円となりました。また、経常利益は11,979百万円となりました。



POINT 2

山形工場の増産対応に伴い棚卸資産が増加

当中間期末における資産合計額は480,530百万円となり、前期末比9,707百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加や、山形工場での増産対応に伴う棚卸資産の増加によるもので、一方、負債合計額は、長期借入金が増加したものの、設備導入に伴うリース債務が増加したことなどにより300,667百万円となり、前期末比1,469百万円の増加となりました。

POINT 3

営業活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローの収入により現金及び現金同等物の残高が増加

当中間期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に対して3,863百万円増加し、49,323百万円となりました。この主な要因は投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得に伴い14,970百万円の支出となったものの、税金等調整前中間純利益などにより営業活動によるキャッシュ・フローでは14,092百万円の収入、長期借入れなどにより財務活動によるキャッシュ・フローでは4,260百万円の収入となったことによるものです。

▶ TOPICS 2 ◀ 万博会場にて高校生ビジネスコンテスト開催!

当社は「高校生が将来の日本を考える機会の提供」を目的に、2020年から高校生ビジネスコンテストを開催しています。

今年は公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と共催し、8月4日に大阪・関西万博会場 EXPOホールにて「Better Co-Being共鳴イベント 未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト supported by 東和薬品」のファイナル審査会を開催しました。

テーマは「Better Co-Beingとこころの笑顔を実現するための地域社会づくり」。全国の高校生271チームから勝ち進んだファイナリスト6チームが会場に集い、自ら見つけた課題とその解決策をプレゼンテーションしていただきました。

最優秀ビジネスプラン賞には、鹿児島県の竹林問題と竹の資源価値に着目したビジネスアイデアを発表した、鹿児島県立楠隼高等学校チーム「笑竹 Buy」に決定しました。審査結果は右記QRコードよりご覧ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ファイナル審査 結果

会社の概況と株式の状況 (2025年9月30日現在)

会社概要

社 名 東和薬品株式会社
本 社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
TEL：06-6900-9100（代表）
代 表 者 代表取締役社長 吉田 逸郎
創 業 1951年6月
設 立 1957年4月
上場取引所 東京証券取引所プライム市場（証券コード：4553）
資 本 金 47億1,770万円
事 業 内 容 医療用医薬品の製造・販売

事業拠点及び販売拠点

本 社 本社 守口別館 東京支社
研 究 所 中央研究所
製剤研究所
健都ライフ・イノベーションセンター
尼崎リサーチセンター
姫路リサーチセンター
工 場 大阪工場 岡山工場 山形工場
物流センター 東日本物流センター 西日本物流センター
関東出荷センター 関西出荷センター
営業・販売拠点 営業所69拠点 代理店55拠点

連結子会社

ジェイドルフ製薬株式会社
大地化成株式会社
グリーンカプス製薬株式会社
三生医薬株式会社（他1社）
九州医薬株式会社
Towa Pharma International Holdings, S.L.（他7社）

株式の状況

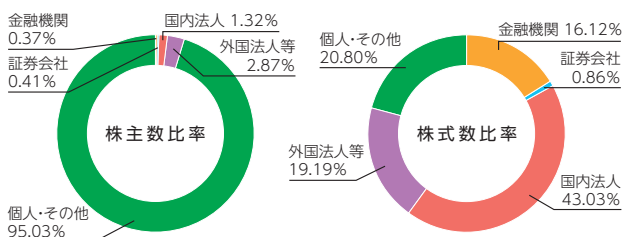
発行可能株式総数 147,000,000株
発行済株式総数 51,516,000株
1単元の株式数 100株
株 主 数 7,032名

大株主一覧（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社吉田事務所	20,100	40.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,513	7.14
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	2,597	5.28
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,550	3.15
東和薬品共栄会	1,530	3.11
吉田 逸郎	1,455	2.96
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	1,394	2.83
東和薬品社員持株会	1,020	2.07
有限会社吉田エステート	648	1.32
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	543	1.10

（注）当社は、自己株式2,288,103株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主分布状況



役員

代表取締役社長	吉田 逸郎	取締役 田中 政男
常務取締役	内川 治	社外取締役 大石 歌織
取締役	國分 俊和	社外取締役 後藤 研了
取締役	竹安 正顕	社外取締役 安藤 伸樹
社外取締役	栄木 憲和	

番組提供

報道ステーション	テレビ朝日系24局ネット 毎週金曜日 21：54～23：10
Do～んな天気	YTSS山形テレビ 毎週火曜日 20：54～21：00

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日
1単元の株式数 100株
公告掲載方法 電子公告によって行います。
<https://www.towayakuhin.co.jp/ir/stock/koukoku.php>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人ならびに 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒541-8502
（お問合わせ先） 大阪府大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話：0120-094-777（通話料無料）

- ◆ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
口座を開設されている証券会社等にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合わせください。
- ◆ 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し付けください。

◎見直しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、下記 URL にアクセスいただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

https://questant.jp/q/towa_report_202512



- アンケート実施期間
2025年11月28日(金)
～2026年1月4日(日)
- 所要時間
約5分

アンケート回答のお礼

第69期通期 事業のご報告にて当社が実施したアンケートに対しまして、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。当社では株主の皆さまとの対話を重要なテーマと考えており、今後も双方向のコミュニケーションの充実を目指してまいります。

